新板歌舞伎狂言穴さがし

笑ふべき雲助どうけのどもを利見出すことなり

角とのそうじは作ぶうきでもいつも藝ぶるまことなし

おれたいこが大さぎの酒のりて作事をひおのでことなし

紙屋世の姿ふうを楠さげて あくてを不往てのぐりさるなし

此通りちらちんとうけ半ポント切ねといふことなし

長拍の内まくまをて張るものゝ小あんを出ることなし

賓の紙の角をもち歩るふドン鍋へでも合ぬことなし

むやん人の法螺いの門でも遠方の云ものはことなし

物役上役の賢りのいちをを本俗どてら云て張ぬことなし

ちゆう人打とパット立の巳本の根のこん仕掛をこそなし

お家の伯父れいの門でも歌やく押れのるうをせぬいなし

故のちの浪人が大切ものを出世せんを張ことなし

義をのやうの門を夫のあげ代掛ることなし

実ぎの場へ素像の仕出しゝさいせんとて新んざことなし

大星で大せいが者でもてりしのつぎ月と仕ることなし

世俗場の門口を赤ちし入きこう箕戸をとめることなし

松の木ちうへ不て門ぷうを拵さ出びきあびゝ門ることなし

大義して来こ安前をかくす押入よ物の入てあ門ことなし

狼籍のお用さんいいつでも九いかけこ用のでことなし

藩人い草と杖ぢうと拵く俗狼の用云の門ことなし

さ門ぷをおうよ義せを愛のうち張るものをこ巳たことなし

一下ろ世切をてよおひ上着乃扇をぬぐねといふことなし

むやん人のやろぎるハめ下やへ丁ちん草であ門ことなし

新忍世の中さい法宝ばうで野あるぐ方をこ門もなし

新板　歌舞伎狂言穴さがし　文庫10-8063-12
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library